

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は 2025 年度 WA 規則及び WPA 規則を適用する(競歩種目を除く)。広告規程については国内規則で実施する。

2 練習について

練習は別表「練習会場・練習時間及び注意事項」に基づき実施することができる。注意事項を確認し、練習にあたっては競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

(1)招集所は、本競技場第2ゲート(1500m スタート付近)外側に設ける。

(2)招集開始時刻及び招集完了時刻は下表のとおりとする。

競 技	招集開始時刻(点呼開始時刻)	招集完了時刻(移動開始時刻)
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技(棒高以外)	競技開始 50分前	競技開始 40分前
フィールド競技(棒 高 跳)	競技開始 90分前	競技開始 80分前

(3)招集の方法について

ア 競技者は招集完了時刻までに招集所で待機し最終点呼を受けること。その際、アスリートビブス・スパイク・衣類・商標等の点検を受けること。また、携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。

イ 代理人による点呼は認めない。2種目を同時に兼ねる競技者は、「多種目同時出場届」(TICに準備)を競技者係に提出し、競技の進行に支障がないようにすること。

ウ 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は、当該種目を棄権したものとして処理する。

エ リレーに出場するチームは、所定のオーダー用紙(TIC に準備)を第 1 組の招集完了時刻の 60 分前までに競技者係に提出すること。決勝においても同様とする。時間内に提出のないチームは棄権したものとして処理する。

オ 棄権する競技者は招集完了時刻までに「欠場届」(TIC に準備)を提出すること。尚、提出場所は、8月22日(金)17:00までは、大会本部(山口陸協事務局)。大会当日は、TICとする。

カ 本大会では参加の拒否(TR4.4)は適用しない。

4 アスリートビブスならびに腰ナンバー標識について

(1)アスリートビブス、腰ナンバー標識は主催者が準備する。

(2)アスリートビブスは所定の大きさのままで胸・背部両面につけること。ただし、跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。

(3)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を右腰につける。尚、リレー種目については、4×100mR の第 4 走者、4×400mR の第 2 走者から第 4 走者は、腰ナンバー標識を右腰につける。

5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1)番組編成は参加資格記録をもとに行う。(同一県・同一チームは配慮しない。)

(2)400m 以下の距離の種目及びリレー種目について予選が 5 組以上の場合は上位記録 8 名(8チーム)で決勝を実施する。

(3)400mH 及び 800m 以上はタイムレース決勝とし、参加資格記録のランキング下位者から順に番組編成を行う。

(4)トラック競技におけるレーン順及びフィールド競技における試技順はプログラム記載順序による。次ラウンドについては記録掲示板にて発表する。

(5)タイムで次ラウンド進出者を決めるにあたり、最後の 1 枠に同成績がある場合は、0.001 秒単位の時間で判定して決定する。それでも決定できない場合は抽選により進出者を決める。(競技規則 TR21.5)

6 競技について

(1)トラック競技

- ア 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- イ スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)
- ウ 短距離走では、安全のためフィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

(2)フィールド競技

- ア 競技場内での練習はすべて競技役員の指示に従うこと。
- イ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで下表のとおりとする。ただし、当日の気象状況等によっては変更する場合がある。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳	男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63			3cm
棒高跳	男子	任意	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70		10cm
	女子	任意	2m40	2m60	2m80	2m90			10cm

- ウ 走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合は、TOP8以降の試技もピットを変えずに行う。
- エ 三段跳の砂場から踏切板の距離は、男子13mと11m、女子9mの位置に設置する。ただし、主催者の判断により変更する可能性がある。
- オ 走幅跳・三段跳及び投擲種目の試技は2回(TOP8は+2回)とする。また、走高跳・棒高跳は、2回連続無効試技で競技終了とする。

7 競技用具について

- (1)競技に使用する用具は原則として主催者が用意したものとする。
- (2)棒高跳のポールについては、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。
- (3)投てき用具については個人所有のものを持ち込みを認めるが各種目競技開始時刻の90分前から60分前までに用器具検査場(第4ゲート付近の用器具庫①)で検査を受けること。なお、検査に合格した用具は主催者が預かり、参加競技者間で共有できるものとする。競技終了後に用器具検査場で返却する。
- (4)跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。

8 競技用靴について

- (1)スパイクシューズは競技規則 TR5.2 による。
- (2)WRk 対象競技会につき、WA 競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- (3)審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。

9 表彰について

- (1)各種目3位までの入賞者(リレーは1チーム4名)を表彰する。(賞状及びメダルを授与)
- (2)表彰は決勝結果アナウンス後ただちに実施する。3位までの入賞者はメインスタンド下のエントランスホール表彰者控所にすみやかに集合すること。(都合により出席できない場合は必ず代理人を立てること。)
- (3)成績優秀者若干名に優秀選手賞を授与する。

10 更衣室について

- (1)本競技場メインスタンド下の更衣室(男女1室づつ)が利用できる。
- (2)更衣室は、更衣のみに使用し更衣後の荷物は、各自で管理すること。コインロッカーは、使用可能です。
- (3)貴重品類は、各自で保管すること。万一の事があっても、主催者(大会本部)は責任を負わない。

11 トラック競技の衣類について

- (1)トラック競技の競技者の衣類搬送は、次の通りビニール袋(各県受付で配付:70L程度)により行う。
- (2)スタート前に脱衣した衣類等は、必ずビニール袋に入れ、競技役員が指示した場所に置くこと。
※ビニール袋に入れない荷物は、搬送しない。
- (3)脱衣した衣類等は、直ちに係員が退場口(第1ゲート)に運ぶのでフィニッシュ後、速やかに各自で受け取り退場すること。

12 その他

- (1)開場時刻及び受付開始時刻は、下記の通りとする。

	8月22日(金)	8月23日(土)	8月24日(日)
本競技場スタンド開場	12:00	7:30	7:30
競技者受付開始	—	7:30	7:30

※競技者受付は、本競技場エントランスホールに各県別に設け、アスリートビブス等を受取る。

- (2)大会本部は本競技場会議室 2-A に大会期間中設置する。
- (3)競技場内での疾病、傷害等に対する応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4)プログラム記載事項に訂正がある場合は、本人または代理人が各県代表に申し出て、訂正手続き(プログラム訂正届提出)を行うこと。
- (5)競技結果等は、記録処理終了後、随時山口陸協速報サイト(<https://yaaf.jp/mob>)に掲載する。
- (6)記録証明書を希望する競技者は、1通500円を添えて大会本部に申し出ること。(後日郵送)
- (7)本競技会の優勝者が必ずしも日本選手権の出場権を得るものではない。